

校 訓
真善美への感動と実践

本校の教育目標
1 生徒の自己理解と社会認識を深め、積極的な学習を奨励する 2 公德心を涵養し、規律を重んずる習慣を養う 3 情操豊かで心身ともに健康な生徒の育成に努力する

生徒の実態、教師の願い
(生徒の実態) 素直で明るい生徒が多い。進路希望が多岐にわたるため、自分を見つめる時間を確保する必要がある。 (教師の願い) 社会人としての常識を身に付け、理想とする将来像を明確にする。行事や学業に積極的に取り組む。

保護者や地域の願い
挨拶や身だしなみ等の基本的な生活習慣の確立するとともに、基礎学力を確実に身に付け、実践力を向上させる。また、進路目標の確立とその達成を図る。

「志教育」の目標
1. 他者や自己の良さを認め、良好な人間関係を築き、有意義な高校生活を送る。 2. 社会の一員としての自己を認識し、自分がどのような形で社会貢献できるかを、考えられるようにする。

重点指導事項		
人と「かかわる」	よりよい生き方を「もとめる」	社会での役割を「はたす」
(1) 授業や学校行事、総合的な探究の時間において、他者とのコミュニケーションを通して他人の価値観や個性を理解する。 (2) 部活動や生徒会・委員会活動、家庭クラブ活動などにおいて、先輩・同級生・後輩の関係を通し適切な人間関係を構築する。 (3) 対外的な活動への参加を通して、様々な立場の意見に耳を傾ける。	(1) 職場体験・オープンキャンパス・進路ガイダンス等に積極的に参加することで、社会や職業について深く学び自己の果たすべき役割について考える。 (2) 自己理解を深めるために、授業や学校行事、読書などを通して先人の生き方を学び、普遍的な価値観について考える。	(1) 学校生活における各種活動において、自己の役割を的確に把握・遂行することにより、自己肯定感を高め、集団の一員としての認識を高める。 (2) 校外での諸活動を通して、社会の一員としての自覚を持つ。

各教育活動における取組の観点	
各教科	各教科ごとにキャリア教育的観点に基づき、職業観や勤労観を養う学習活動に取り組み、社会人としての素養を身に付けさせる。また、授業内容と職業との関連性を具体的に示し、生徒の学習意欲を高める。さらに、授業で先人の生き方を学び、普遍的な価値観について考える。
道徳	各教科ごとにシラバスに掲げた道徳的観点に基づき、生徒が社会人として主体的に生きていく土台を形成できるように指導する。
総合的な探究	生徒が社会人としてのよりよい生き方を主体的に探究できるよう、また、社会性や勤労観を養い、自己を地域を担う人材として自覚できるよう、内容を厳選・充実させる。
特別活動	学校行事や部活動・委員会活動などにおいて、周囲と積極的に関わることで自己の役割を認識させる。また、様々な活動に取り組み、それをやり遂げることで、達成感と自分も集団の一員として役に立っているという満足感を実感させる。
その他	日常の清掃活動等において、一人ひとりに役割を分担させることにより、勤労意識や自分が役に立っているという意識を高めさせる。また、日常の清掃活動等において、周囲と協力して取り組むよう指導し、社会の一員としての自覚を持たせる。

各学年の取組内容	
1年	①自己理解と興味・関心の発見及び職業調べ 自己の適性を的確に把握し、自分が役割を果たせる職業分野を検討する。さらに、自分の適性を活かせる職業を具体的に調査するとともに、外部講師による講話を聞くことなどにより、自らの生き方を探求する。 ②各種校内行事への積極的な参加 相互理解を深め、友好的な人間関係を築くと共に、自己の果たせる役割や果たすべき責任感を学ぶ。
2年	①社会との接続と進路選択 社会課題や職業を深く知り、進路の方向性を具体化する。 ②オープンキャンパス・職場体験 将来像を明らかにし、進路目標を具体的にかつ明確にする手段として活用する。 ③修学旅行 準備過程を通して相互理解を深め、協働して地域を研修することで、集団の一員としての自覚と教養を高める。
3年	①オープンキャンパスへの参加・大学説明会 自分が理想とする社会人になるため、最も適した上級学校を選択する判断基準にする。 ②応募前職場見学 就職を希望する職場を実際に見学し、当該企業の人から直接対話することで、進路決定の判断基準にする。 ③進路講演会・進路別ガイダンス 進路に関する理解を深め、進路達成を図るとともに、社会に必要な実践力を養う。

家庭との連携
・保護者への情報提供を積極的に行い、生徒の人格の完成を目標に保護者と教員が一体となって指導する。 ・各種進路ガイダンスに保護者が積極的に参加することにより、進路に関する家庭内での対話を充実させ、進路選択の一助とする。

地域・企業との協働
・岩沼西地区小中高連携活動等において、地域の方々と協力して活動し、社会の一員としての自覚を深める。 ・地元ロータリークラブ等の協力を得た就職試験模擬面接会を通して、社会の求める生徒像を理解する。